

平成23年度 第2回やまのベココミュニティバス懇話会会議録

- 1 日 時 平成23年11月9日（水）午後1時～午後3時25分
- 2 会 場 山辺町役場3階大会議室
- 3 出席委員 貝山道博委員、笠原泰弘委員、中村幸悦委員、武田正夫委員、土屋三之助委員、佐藤美知子委員、佐藤俊助委員、武田敏子委員、吉田朝夫委員、鈴木良一委員、計10名
- 4 欠席委員 安達増三委員、田崎多美子委員、峯田和宜委員、村山邦雄委員 計4名
- 5 事務局 三浦康市課長 長岡恒多夫主幹兼企画情報係長 平英二主査
ランドブレイン(株)小久保博環境・社会システムグループチーム長
- 6 会議資料 事前配布：平成23年度第2回やまのベココミュニティバス懇話会資料
当日配布：人口・世帯数推移表【H8～H23】
- 7 会議内容
 - ① 開会（13：00）
 - ② 会長あいさつ
 - ③ 議長選出
設置要綱第6条の規定により、貝山会長が議長となる。
 - ④ 協 議
会 長：それでは、事前に送付されています「第2回やまのベココミュニティバス懇話会の次第」に基づき進めて参ります。
次第の4番、第1回懇話会会議内容及び会議録の確認について、事務局から説明をお願いします。
《事務局、事前送付資料確認後、ミスプリント修正、第1回懇話会会議内容及び会議録の確認について説明》
会 長：ただ今、「第1回懇話会会議内容及び会議録の確認について」事務局から詳しい説明がありましたが、委員の皆さんからご意見、ご質問ございませんか？
<なし>
ないようでしたら、協議事項（2）「町営バスの運行形態等について」事務局から説明をお願いします。
《事務局、町営バスの運行形態等について説明》
事務局：町営バスの運行形態等について、委託業者のランドブレイン株式会社さんから①の公共交通に関するアンケート調査結果について、②の山辺町の実態と地域公共交通の課題について、③のデマンド乗合タクシーについて説明した後、④町営バスの運行形態（案）について説明するというところでよろしいでしょうか。

会 長：よろしいでしょうか。

<異議なし>

事務局：それでは、①～③まで、ランドブレインさんから説明してもらいます。

ランドブレインさん、よろしくお願いいたします。

《公共交通に関するアンケート調査結果について、山辺町の実態と地域公共交通の課題について、デマンド乗合タクシーについてランドブレイン(株)から説明》

会 長：ありがとうございました。ただ今、①公共交通に関するアンケート調査結果について、②山辺町の実態と地域公共交通の課題について、③デマンド乗合タクシーについて説明がありましたが、委員の皆さんからご意見、ご質問ございませんか？

全体で1日のコミュニティバスの利用者数はどのくらいでしょうか？

事務局：おおむね50～70人です。

会 長：土日は観光客などでプラスされるのでしょうか。

委 員：10数名です。

会 長：調査結果にもありますように、コミュニティバスは中・作の山間部地域では必須であり、もっともっと充実してほしいということがはっきりしています。

やはり、若い世代の方は利用される方が少ないようです。

停留所はたくさんあるけれど、利用されるバス停が限定されているようです。町民の要望によって増やされたようですが、残念ながら利用客増加にはつながっていないようです。

委 員：デマンドタクシーについて詳しい説明が出てきました。コミュニティバスを充実していくのか、デマンドタクシーを導入するのか、難しい局面にきていますけれど、もう少しデマンドタクシーを理解してから検討していきたいものです。

会 長：デマンドタクシーは自宅から乗れ、行きたい場所まで行け、時間に余裕ができるという大変便利なものですが、問題は料金と運営面でのタクシー会社との相互協力になります。

委 員：山辺温泉、医者に通っている利用者の方の意見なんですけれど、年金で暮らしているので、運賃の高いデマンドタクシーは利用しづらいし、知らない方と一緒に乗り合いするには抵抗があるという意見もあります。やっぱり今までどおり安く利用できるようにしたほうが良いと思います。

会 長：そのほかご意見等ございませんか。ないようでしたら、次に、「④町営バスの運行形態（案）について」説明願います。

《町営バスの運行形態（案）についてランドブレイン(株)から説明》

会 長：ありがとうございました。ただ今、「④町営バスの運行形態（案）について」説明がありましたが、何かご意見、ご質問はございませんか？

委 員：案2の循環バス+デマンド交通ですが、通勤・通学に使えますか？

ランドブレイン：通勤・通学に使えますが、デマンド交通で想定している車両ですと人数制限があるため、2便に増やすなどで対応しなければならないので、コストが掛かることとなります。一方案4ですと、一定需要が見込まれていますので、朝夕運行し、中・

作～駅まで直行で行けることになります。

委員：どちらの案も通勤・通学の方は100円で利用できるということですか？

会長：いいえ、デマンド交通ですので、料金が高くなります。循環バスですと、100円になるかもしれません。

委員：案2はデマンドだけですか？

会長：案2は平野部だけ循環バスで、山間部はデマンド交通の組み合わせです。

委員：朝夕も運行しますか？

ランドブレイン：デマンドですので、朝夕も運行します。

委員：山間部は全部デマンドですか？

ランドブレイン：案1だけが違います。

会長：通勤・通学では需要がありますから、100円で利用できると思います。大切なことは高校生がデマンドを使うのはどうかということで、高校生だけは100円で利用できるようにして欲しいと思います。

委員：デマンドですと料金が300円～600円とありますが、1人あたりの値段でしょうか？

ランドブレイン：そうです。

委員：1人でも運行しますか？

会長：はい。普通のタクシーを利用する感覚だと思いますが、他の人も乗るということで、コミュニティバスの小型版と考えてもらえれば良いと思います。

委員：現在のコミュニティバスは1回100円で運行していますので、料金が上がるのは抵抗がありますが、家の前まで来てくれるのはとても良いと思います。デマンドはイベント等で利用できますか？

ランドブレイン：大いに利用していただきたいと思います。イベントは予めわかっていますので、利用可能だと思います。イベントの足となるのは必要だと思います。

委員：案4で県民の森まで行けたら、良いと思います。

会長：確かに県民の森は自動車がないと行きづらいです。県に県民の森までの交通のアクセスを要望したのですが、実現しておりません。また、バスの利用者が町民でないから制限しなければならぬ、との考えもあります。しかし、イベントにおける地域の活性化を考えれば、全ての方から利用してもらおうべきであると思います。また利用客数を伸ばすことでバスの赤字を解消できると思います。

委員：利用する高校生は何人ですか？

委員：7人ぐらいです。町は利用者がいなくなったら、その時に考えれば良いと思います。良いと考えるのは案4だと思います。コミュニティバスを地域のコミュニティに活かしていくべきだと思います。コミュニティを生み出していくバスに変えていくことが大切だと思います。

委員：畑谷が話題になっておりますが、私が住んでいる摂待は畑谷から6km離れています。その地域の方の公共交通も考えていただきたいと思います。

事務局：摂待であろうと地域に含まれていますので、利用できます。さらにデマンドですと家から目的地まで行くことができます。コミュニティバスですと、100円で利

用できますが、デマンドになると300円～600円かかることになります。

この懇話会では、金額はあまり考えず、今後の運行形態をどのようにしていくかを議論していただきたいと思います。

会長：案4のシャトルバスの運行ルートは大事になってくると思われま。できるだけ多くの通勤・通学者がシャトルバスを利用できるようにしなければならないと思います。また、温泉に行く方も利用できるようなシャトルバスになれば理想だと思います。

委員：問題はデマンド交通にして、どのぐらいの金額になるかなのではないのでしょうか。また、町がどれだけ負担をするのか、タクシー業者とうまく連携していけるのが問題ではないでしょうか。デマンド交通の金額によっては、ガソリン代などを考えますと運転する方もデマンドを利用した方が安くなるのではないのでしょうか。そうすれば、利用が増えるのではないのでしょうか。

町の予算からいくりにするかはこの懇話会では議論しないのでしょうか。

事務局：今のところはそのような方向です。他の町の例でみますと、500円が多いようです。街中だけですと、300円もありますが、300～600円が多いようです。

委員：町中でもタクシーを3人くらいで利用する方もいるようです。しかし、山間部と平野部で同じ料金で運行できるのかが、問題になってくるのではないのでしょうか。

委員：正直いいますと、厳しいです。

委員：町内ですと、(タクシーで) 駅から大寺あたりまでいくらかかりますか。

委員：メルヘンまでで約760～850円で、もう少し行くと940円ぐらいかかります。

委員：そうすると、3人で乗れば、300円ぐらいですね。

会長：自動車の経費等を考えると意外に自動車はお金がかかるかもしれませんね。

委員：鬼ノ目なんです。朝日町経由で山形にバスが出ているようですが、学生だけ乗っているのか？他の方も利用しているのですか？

事務局：学生がほとんどのようです。

委員：いくらぐらいで利用できるのですか？

事務局：調べて後ほどご報告させていただきますが、定期券などもあるようです。

会長：山間部と平野部で金額を分けている自治体は今まで調査したところないようです。地域で分けて、タクシー業者が共存しているところもありますが、料金は一律なんですね。金額に差をつけるのなら、それなりの理由づけの方が難しいですね。

事務局：先ほどの朝日町～山形の直行バスの利用金額ですが、1回につき高校生以上500円。中学生まで250円。小学生未満は無料となっています。1カ月で6,000円、3カ月で17,000円、1年定期で60,000円となっています。

会長：朝日町の例よりもはるかに安いでしょ。コストの大半は人件費なのですね。

委員：コミュニティバスの停留所に休憩所を設けて、コミュニティを広げてはどうでしょうか。

- 委員：おーばんなどの大型スーパーの近くには、町の商店街としては、ますますお客を取られるのでなるべく停留所を設けてほしくないというのが、町の商店街の意見だと思います。
- 委員：コミュニティバスを利用して、商店街のコミュニティを活性化して欲しいと考えました。
- 会長：それでは、みなさんはどの案にしたらいいのか、お聞きしたいと思います。
- 委員：デマンドは大変便利とわかりましたが、果たして金額的にどうなのか？という疑問があります。ですので、案1のコミュニティバス強化案がいいと思います。
- ルートが非常に複雑ですので、単純化するべきだと思います。山間部のルートは1本にできると思います。勿論、通勤通学者が利用しやすいように、朝、最終便を改善して、毎日運行し、最終便の時間を遅くするべきだと思います。また、大寺地区の通勤・通学の利用を増やすため、利用時間を改善していくべきだと思います。通勤・通学者に利用しやすい時間帯を作っていくべきだと思います。
- 平野部の方は、単純な路線で4周ぐらいできれば、わかりやすいし、便利だと思います。温泉を利用する方が多いようですので、温泉発ももう少し遅い時間も増やすのも良いのではないのでしょうか。
- スクールバスも活用すれば、もっと効率的な運行ができるのではないかと思います。
- 会長：ありがとうございました。
- 委員：案1に賛成です。コースが複雑すぎて分かりづらいので、分かり易く改善してもらいたいです。
- 委員：案4に賛成です。利用者がいろんな所に行けそうな感じがし、活性化につながりそうで、良いと思います。
- 委員：案4に賛成です。利用者が利用しやすく、町に合った感じがしたので良いと思います。通勤通学利用は、直通運行にして良いのではないのでしょうか。また最終便をもう少し遅い時間にした方が良いと思います。また回数券等で割安な利用方法を考えてほしいと思います。
- 委員：案3に賛成です。デマンド交通が良いと思います。
- 委員：案1のコミュニティバスの強化案に賛成です。
- 委員：案1に賛成です。平野部ですが、午後の便を増やし、午前2便、午後2便ぐらいにして欲しいです。
- 委員：業者としては案1が一番楽なのですが、社会環境の変化から公共交通もスリム化になっていますので、今の社会環境面に逆らっていると思われます。案2の変形型（通勤通学時のシャトルバスを案2にプラスする）を提案します。平野部はバス停が近いので、路線を見直せば循環バスで充分だと思います。案3では通勤通学時に支障をきたしますし、平野部はデマンドではなく、バスの方がいいと思いますので、案2の変形型に賛成です。
- 会長：案4を基本に考えたいと思います。決めるのは、皆さんですが、私の経験から申します。デマンド単独では成り立たないので、組合せないといけないと思われ

ます。案2で懸念されるのは、循環バスの利用者がどの位なのか？空運行にならないのかです。ですので、一番無難なのは案4だと思います。

本日欠席の安達さんの意見をご披露お願いします。

事務局：案1について、運行日、本数を増やし利便性を向上させることは良いことだと思います。バス停までの距離の負担は個人差があります。バス利用者はバス停で必ず待っていることから、バス停を増やしてもさほど時間には影響がないと思います。「○」の評価です。

案2について、運行経費を無視した意見としては大変良いと思います。確かに山間部の方は利用しやすいと思います。平野でバス停に遠い方には、バス停を増やすなどして軽減した方が良いと思います。「○」の評価です。

案3、4は利用時間などの詳細な調査にも時間がかかると思います。「△」の評価です。

会長：ありがとうございます。利用金額が上がれば利用客は減りますし、値段が下がれば利用客は増えます。町でどれだけ負担できるかだと思います。

この場でどの案にするか決めないといけないですか？

事務局：特に決定していただかなくてもいいかと思います。今までの皆さまからの意見をまとめ、通知を差し上げたいと思います。決定につきましては、地域公共交通会議、町の方針決定もあり、最終的には条例として議会にかけ、議決をいただかなければなりません。懇話会の意見、デマンド交通の必要性があるという方向性を加味しながら、町の計画としてまとめていこうと思います。

会長：それでは、これまでたくさんの意見が出ました（2）町営バス運行形態などについて、取りまとめをお願いします。

次に、協議事項（3）の「今後の進め方」について事務局からお願いします。

事務局：今後の進め方についてご説明する前に、先ほど質問がありました朝日町のバス運営経費、利用料金について報告させていただきます。事業費につきましては730万円、料金収入330万円、国からの補助93万円、計423万が利用者と国からの補助として収入となっています。307万円の赤字です。利用者として、年間約8,000人となっています。

《事務局、今後の進め方について説明》

- ・意見、ご要望等を加味しながら、再度「町営バスの運行形態（案）」を取りまとめ、地域公共交通会議において、協議。今回は、生活交通ネットワーク計画（案）の提示予定。
- ・懇話会は、来年2月上旬に開催予定。開催日は後日決定。

会長：ただ今、（3）「今後の進め方」について、事務局から説明がありましたが、委員の皆さんからご意見、ご質問ございませんか？

〈なし〉

会長：次回開催は2月上旬を予定し、具体的な日程、場所については、追ってご連絡するという事で進めて参りたいと思います。

以上をもちまして本日の協議事項、その他すべて終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

《事務局、第1回会議録に修正提出のお願い》

⑤ 閉 会 (15:25)